

例会だより

東京白門ライオンズクラブ
TOKYO HAKUMON LIONS CLUB

2016年3月2日（水）第一例会 於銀座東武ホテル 芙蓉



▲ 中島法学部長の講和



▲ 田口 L・大越 L・中島 L・境 L、お誕生日おめでとございました！



▲ リゾンチェアパーソン佐久間 L

定刻を過ぎ、田尻 L がゴングを鳴らすと、3月第一例会は機関車の如くゆっくりと進みだした。前方には中島康予先生が見える。突然の佐久間リゾンチェアパーソンの参加で、右江さんが動揺していた。

会は徐々に力を増しすむ。境会長の話の中で「中村憲剛さんがチャイルド団などをして社会貢献をしている」ということを聞き、中村さんにも是非、白門ライオンズのメンバーになって貰わなければと思った。

今日、附属高校の卒業式に大越 L と境会長が出られた。今後の後輩達がこれから巣立つ姿に昂揚。大越 L は会員増強で賞を受け、とてもカッコいいキーをもらった。今後、会員増強してキーを頂きたいと思った。



▲ 水津前会長 ウィサーブ

中島康予先生は、銀座にはなかなか来られない中、歌舞伎を見られてからの参加。羨ましい。今やっているスーパー歌舞伎Ⅱ（セカンド）ワンピースを是非とも見たい。

スピーチは先生目線での法学部の話。卒業発表で落ちてても、再試験というセーフティーネットがあるのだが、「競争心を高める為には再試験なし」にしたら如何かと。まさしくそのとおりである。今年度もいよいよ入学試験が終わり、結果として、志願者が増え、75,000 だそうです。すごい人気ありますね。そんな中、公立理系人気下がっているそうだという事で、昔と違いなぜ理系の人気が無いのか不思議に感じました。日本は資源がない国なので、やはり科学化学が大事。そんな中、社会科学が人気だそうで驚きました。試験の受け方も新しい形で受ける人が多いそうで、マークシートの方が採点者が楽だからなのか、志願者が楽だからなのか、やはり中島先生の言う通り記述が必要だと思いました。金沢への試験会場の新設によって、地方志願者が増えたことは何よりです。入学に関して、推薦入学より試験による入学が司法試験合格率アップにつながるという考えには同感致しました。キャンパスの立地は法学部を後楽園に移すことにより移動が少なくなり、優秀な学生が集まるのではないかとこの事で、そのとおりだと思いました。先生は、多摩2期生で多摩キャンパスが好きで、多摩キャンパスから引越したくない中央大学出

身者が多く、先生は喜んでいるそうです。中大は学部が多く生徒が多いので、その中で財政を支えているそうです。また、就職先として、法曹、公務員、金融機関を選ぶ学生が多く、大学もこの3つの専門のコース制でやっている為、リスクを取らない学生が多いのが残念だそうで、私もそう思いました。先生は競争し切磋琢磨する学生を薦めているそうですが、センター試験の依存率高い現状では寂しい限りで、その通りだと思いました。

中央大学の HP では多くの学生の声が生で聞けるそうで、その中でも貧しい中、経済的ボランティアを行い、ノートテープ起こしを行った学生が、神のおおかげか？そのノートの問題が試験に出たそうです。このような学生が未来を切り開き、社会に出るのを我々は白門ライオンズで応援したいと思いました。また、たまたまですが、多摩キャンパスが良いと思う人が多く HP に載っているそうです。

先生の話で今の中央大学の現状がよくわかりました。

佐久間 L は職場に近いそうで、今回たまたま参加されたそうです。我がクラブの姉妹クラブの駿河台ライオンズのメンバーで、我がクラブには8年ぶりの訪問だそうです。また、白門ライオンズの例会出席者が多いので驚かれていました。今、330-A 地区の会員増強目標は 1,000 名で、いまのところ 400 名の増強なので、ぜひとも駿河台ライオンズクラブに会員増強ノウハウ教えてほしいとのことでした。

水津元会長の温暖化の話で、白門ライオンズの例会も一段の盛り上がり。鈴木元会長、増える増える中大受験生の報告。嬉しい。また、着物の中西 L がきれいでした。最後のメ、テイルツイスターの大越 L の話はとても面白かった。田口 L が議事堂の食堂で並んでいたところ、中山名誉会長のご子息、中山泰秀先生が割り込んでこられたそうでやはり縁が有るのだなーと思いました。石村 L と増尾 L のセンスの良さがライオンズ通信に現れている事を改めて認識致しました。閉会で中西 L が言われておりました中島学長、是非応援したいと思います。（出席者は 28 名でした）



◀ 平山 L 出席率の発表

【L 増淵 秀一・記】

2016年3月16日（水）第二例会 於銀座東武ホテル 芙蓉



(上左) 榎元会長ウィサーブ
(上中) 境会長のご挨拶
(上右) 前テーマー井原 L

(下左) 廣澤 L オークション
(下右) 田口 (義) L と松田 L のお誕生日会



開会のゴングのあと、境会長からの会長挨拶において、中央大学の学術奨励賞合同授与式に廣澤第一副会長、田口幹事長とともに参加した際の様子が報告されました。

続いて、国際本部から、2人の新会員の加入に尽力された功績により、小平康代 L に対して会員増強アワードが授与されたとのことで、鈴木誠 L から、その授与がなされました。

また、鈴木誠 L から、巨人戦のチケット5ペア分10枚のドネーションがありましたので、これをその場でオークションに付し、5人の方々が応募し、それぞれ希望の日程のチケットをいただきました。そのチケット代として、それぞれの応札した金額をドネーションしました。野球シーズンも開幕が近く、皆さん楽しみにしている様子がうかがえました。

木村実牙男 L から、中央大学陸上競技部駅伝監督について、現任の浦田春生監督が3月末で勇退され、後任の新監督に藤原正和氏が就任されるとの記者発表があったとの報告がされました。藤原新監督は、平成12年入学、平成13年と14年は箱根駅伝で山登りの5区を担当し、平成15年には2区で区間賞を獲得しており、卒業後は本田技研に進まれ、世界陸上競技選手権大会男子マラソンの日本代表となり、ユニバーシアード北京大会ハーフマラソンで優勝、2010年東京マラソンで優勝され、また、初マラソン日本最高記録・マラソン日本学生最高記録保持者であるのご経歴が紹介されました。学員がごぞって期待し応援している駅伝では、近年厳しい戦いが続いています、新しい監督を迎えて、心機一転、良い成績を取

めることを期待したいと思います。

その後、毎月、会員のなかのゴルフ愛好者にゴルフ一言随筆を送ってくださっている河野信之 L にご指名があり、この一言随筆の由来などについて語っていただきました。河野 L は控えめで、自慢めいた話はされませんが、この一言随筆は、毎回1枚の用紙にゴルフを通じたさまざまな話題が収められており、そのときどきで、ちょっとしたウィットあり、あるいは風刺の効いた話題あり、くすつとする笑い話もあり、そしてときには身近なことから説き起こした人生訓にも及ぶという優れもので、毎回捨てずにファイルしている方もあるほどです。

総勢27名のメンバーが集まり、いつもと変わらぬ温かなごやかな例会でした。



▲ 増淵 L と大越 L

【L伊藤尚・記】



▲ 鈴木 L のドネーション



▲ 恒例の合唱

2016年度 中央大学学生奨励賞 合同授与式出席記

3月16日(水) 11時より中央大学多摩キャンパスで行われました中央大学学生奨励賞合同授与式に、境会長、廣澤第一副会長、田口幹事長の3人で出席してきました。東京白門ライオンズクラブから、大学院総合政策研究科の留学生張曉棟(ちょうぎょうとう)さんと大学院法務研究科の高階祐一さんのお2人へ学術奨励賞を授与するためです。

久しぶりの多摩キャンパスは、穏やかな日差しの中、春の息吹を感じさせる雰囲気にも包まれておりました。

授与式では、11種類の奨励賞が41名・7団体に授与されました。いろいろな名の奨励賞があることにまずもって驚きましたが、それ以上に驚いた



▲ 酒井総長・学長、藤原先生、高階さんと白門ライオンズクラブメンバー



▲ 張曉棟さんと指導教授松野先生

のが各受賞者の業績の素晴らしさでした。受賞理由を読んでも、このような優秀な学生がかくも大勢中央大学にいることに感銘を覚えるとともに、誠に誇らしく思いました。

日本国内だけではなく世界に認められる論文を発表している学生もおりました。ますますこのような学生が増え中央大学の名声を国内外に高めてくれることを期待したいと思います。

授与式後の祝賀パーティでは、酒井総長・学長をはじめ張さん・高階さんの指導教授の松野先生・藤原先生や中島法学部長など、これまでにライオンズ例会に来て頂いた先生方なども歓談ができ、有意義な一日を過ごすことができました。

東京白門ライオンズクラブが、母校中央大学に奉仕できていることを改めて実感した一日でした。

【L 田口彰紀・記】

第5回東京法政ライオンズクラブ杯 ジュニア空手道大会に出席



▲ 女子の部 組み手の熱斗

3月21日(祝日)快晴の日、星野元会長、久保副幹事長と3人で出席してきました。場所は法政大学多摩キャンパス体育館アリーナ、多摩キャンパスは初めて行きましたが、広大な地域(後楽園ドーム数十倍)の林間に校舎が点在する、我が中央大学と全く違う雰囲気のキャンパスでした。難を言えば交通がバスで少々通学は不便に思われました。大会は型と組手に分かれ、参加選手が500人に迫る迫力のある試合の連続で、小学生の部は女子が多くファ

イト溢れる気合いを発生! 寒さなど吹き飛ばす試合を展開していました。午前部の表彰式には3人で表彰状授与式にも参加しました。学校施設なので前日からの段取りは大変ご苦労されたようで、選手、家族、審判団、会場スタッフ、来賓を加え

ると600人近い方が集まるわけですが、空手の世界ではどっしりと定着した行事になったようです。亀井会長は資金集めもご苦労されたようでした。来賓は交友会会長、地元議員、石井、塩月元地区ガバナー、村木第一副地区ガバナー、巢鴨LC今井Lなど多数お見えになっていました。因みに5大学は兄弟クラブ白門LCのみ参加でした。星野Lと久保Lは自宅が近く毎年参加してくれます。小生は昨年度法政LC会長高嶋L(空手部OB)との約束で今回出席、さすがにいい一日でした。

【L 境 捷彦・記】



▲ 演武

中央大学学術奨励賞受賞者一覧

東京白門ライオンズクラブ学術奨励賞 受賞者一覧				
年度	受賞者		国籍	指導教授
第1回(2005年度)	法学研究科	林 孝眞(イム ヒョジン)	韓国	臼井 久和 先生
第2回(2006年度)	経済学研究科	張 熙(チョウ セイ)	中国	藪田 雅弘 先生
第3回(2007年度)	商学研究科	劉 雷(リュウ ライ)	中国	木島 淑孝 先生
第4回(2008年度)	理工学研究科	韓 冰(カン ヒョウ)	中国	庄司 一郎 先生
第5回(2009年度)	文学研究科	鄭 麗穎(テイ レイエイ)	中国	讚井 唯允 先生
第6回(2010年度)	総合政策研究科	韓 正洲(カン セイシュ)	中国	林 昇一 先生
第7回(2011年度)	法学研究科	NGUYEN PHUONG CHAM THI (ニユエン フォン チャム チイ)	中国	豊岳 信昭 先生
第8回(2012年度)	経済学研究科	朱 洵(ジュン)	中国	石川 利治 先生
第9回(2013年度)	商学研究科	陳 才(チン サイ)	中国	酒井 正三郎 先生
第10回(2014年度)	理工学研究科	関 鍵(カン ケン)	中国	田口 東 先生
第11回(2015年度)	総合政策研究科	張 曉棟(チョウ ギョウトウ)	中国	松野 良一 先生

東京白門ライオンズクラブ法務研究科学術奨励賞 受賞者一覧				
年度	受賞者		国籍	指導教授
第1回(2014年度)	法務研究科	吉田 知世(よしだ ともよ)	韓国	高橋 直哉 先生
第2回(2015年度)	法務研究科	高階 祐一(たかしな ゆういち)	日本	藤原 静雄 先生